

校長室から ひがしなら通心

(H29年度) 茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 20

平成29年7月20日(木)発行

平和(へいわ)への誓(ちか)い

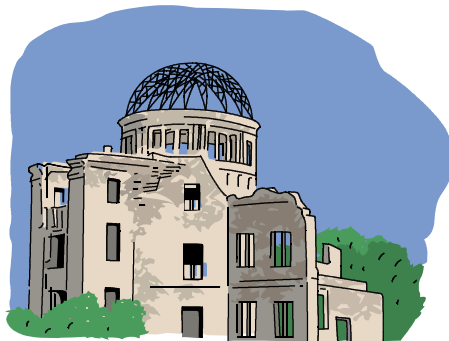
「昭和20年9月21日夜。ぼくは死んだ」。衝撃的なこのせりふは、みなさんも知っている、映画「火垂(ほた)るの墓」の冒頭のせりふです。主人公の「清太」の心の中の言葉で始まるこの映画は、その後の哀しくも美しい兄弟愛の物語として続きます。

今年もまた暑い夏がやって来ます。今から72年前の8月15日の暑い日、日本は終戦を迎えました。この日が「終戦記念日」です。

昭和16年12月に、日本軍のハワイ真珠湾攻撃から始まった「太平洋戦争」。世界的には、「第二次世界大戦」と言いますが、この4年弱の戦争で、日本の軍人は230万人、一般人は80万人が犠牲になったとされています。わずか70数年前にこんな悲しい出来事が、私たちの祖先を包みこみ、現実としてあったのです。

昭和20年の8月6日と9日には、広島と長崎に人類史上初の原子爆弾が投下され、直接的な戦争の終結のきっかけとなりました。広島では12万人、長崎では7万人の尊い命が失われました。先ほどからの数字は、とてつもなく悲惨で悲しい数字です。その一人ひとりに、「清太」と妹「節子」のような悲しい物語があったことと思います。

私の父も若い頃、戦争にかり出されました。母も戦争を経験しました。もうすでに二人と



も他界していますが、聞いた戦争中の話は、悲惨で、とても信じがたい内容でした。今年も終戦記念日が近づくと、新聞では戦争の記事が載り、テレビでは特集番組が放送されることと思います。私たちはその悲惨さに目を背けてはいけなく、同じ過ちを繰り返さないために、過去の悲惨な出来事を語り継いでいかなければならないと思います。特に次代を担うみなさんは、



遠い過去の出来事と風化させることなく、「平和」を希求するために、そんな悲しい過去にも目を向けて欲しいと思います。

昨年、アメリカ大統領として初めて広島を訪れた「オバマ前大統領」。彼はその演説の中で、「いつの日か証言する被爆者の声が私たちのもとの届かなくなるでしょう。しかし、1945年8月6日の朝の記憶を決して薄れさせてはなりません。その記憶があれば、私たちは現状肯定と戦えるのです。その記憶があれば、私たちの道徳的な創造力をかき立てるのです。その記憶があれば変化できるのです」と訴えました。

広島原爆死没者慰霊碑の碑文「安らかに眠ってください 過ちは繰り返しませぬから」を胸に刻み、今、「平和への誓い」を新たにしてほしいと思います。

夏休みの過ごし方

*「早寝・早起き・朝ごはん」を守りましょう。

- ・朝のうちに学習時間を確保しましょう。
→午前中の気温が上がる前に、勉強はすませるようにすること。
- ・家庭での役割分担(お手伝い)もしましょう。
→家族の一員として、しっかり自分の役割を作ることが大切です。
- ・家族の対話を大切にしましょう。
→遊びに行く時は「いつ」「どこで」「だれと」「何をするか」を必ず伝える。

*「命は一つ、自分の命は、自分で守る」

- ・交通安全、水難事故(川、池、野井戸)、踏切に気をつけよう。

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

ルール11 人の成績を言いふらさない

テストの成績がよい人もいれば、わるい人もいる。おたがいにイヤな思いをしないように、成績について本人やクラスの仲間にしゃべってはいけません。●もし自分のテストの点がわるかったとき、それをクラスの人たちに知られてしまったら、どんな気持ちになるだろう。友だちの成績やテストの点数が見えてしまったときも、そういうことは、だまっているほうが礼儀正しい。